

2023

# Miyawaka City

MIYAWAKA CITY GUIDE



“ちょっといい”が ちょうどいいまち 宮若市





# “ちょっといい”が ちやうどいいまち 宮若市

*Miyawaka, Just Right and Enjoyable*

福岡市と北九州市のちやうど真ん中

なだらかな山々に囲まれた盆地で  
東西に犬鳴川が流れる宮若市

澄んだ水、青い空、緑の山々

恵まれた環境に根付いた  
ものづくりの気質に  
最先端の技術

まちの人は言いました  
「ここって、空が広いよね」  
「時間がゆっくり流れている気がする」

都会ではないけれど、田舎すぎない  
落ち着いた雰囲気に包まれた  
ちやうどいいまち

宮若市の魅力を1冊に詰めこみました

来てみんなしゃい!!  
まちが元気、  
人が輝く宮若市へ



宮若市長  
塩川 秀敏

宮若市は、2006(平成18)年に宮田町と若宮町の合併により誕生したまちで、福岡市と北九州市の中間に位置しています。九州自動車道の若宮IC、宮田スマートICを有する利便性から、トヨタ自動車九州株式会社を核に、自動車関連企業が集積するものづくりのまちとして成長し続けています。

近年では、ITで流通改革を目指すトライアルグループの進出により、官民協働によるAI等先端技術を活用する新たなIT拠点のまちを目指しています。併せて、九州大学の馬奈木教授提唱の新国富指標を活用することで、SDGsを意識した持続可能なまちづくりにも取り組んでおり、まさに産学官民協働のまちとして賑わいをみせています。

また、奈良時代に始まる脇田温泉、教科書に載る国指定史跡の竹原古墳、浮世絵の祖と言われる岩佐又兵衛勝以の三十六歌仙絵、筑前三大放生会の一つである若宮八幡宮放生会など、自然と歴史・文化のまちでもあります。

更に、黒田藩献上の記録があり、今日では米・食味分析鑑定コンクール国際大会で何度も金賞を受賞している宮若米をはじめ、人気のビーズクッションYogibo、日本女子オープンが開催されたザ・クラシックゴルフ倶楽部でも使用できるゴルフ券や脇田温泉の宿泊券などふるさと納税返礼品も充実しています。

これからも宮若市は、本市の将来像である「ひと・みどり・産業が輝くふるさと宮若」を目指し、「住みたい 住み続けたい」と実感できるまちづくり実現のため、市民や企業の皆さんとともに前進し続けてまいります。

目次

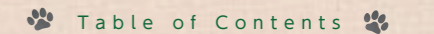


Table of Contents

- [特集 01] 地産地消でまちを元気に ..... 03
- [特集 02] 優しい願いを込めた公園づくり ..... 05
- [特集 03] 宮若市で自分らしく働く ..... 07
- [定住促進] 住みたい、住み続けたい ..... 09
- [子ども育成] 子どもがのびのび育つまち ..... 13
- [産業振興] モノづくりの産業基盤を活かす ..... 17
- [地域連携] 企業・学校・地域とともに ..... 19
- [自然・環境] 豊かな自然をずっと ..... 20
- もっと教えて! 宮若市のこと
- ふるさとPR大使の我がまちじまん ..... 21
- みやわかブランド ..... 23
- お祭り・イベント ..... 25
- 自然・公園 ..... 26
- 歴史・文化 ..... 27
- 温泉 ..... 28
- アクセスマップ ..... 29
- 市議会・市民憲章 ..... 31
- 市のシンボル ..... 32
- 数字でみる宮若市 / 宮若市のあゆみ ..... 33

表紙写真：犬鳴川河川公園を歩く平尾さん家族



# 地産地消でまちを元気に

「おいしい」は人を笑顔にする魔法



2022(令和4)年春、全国で流通・小売業を手がける「トライアル」が宮若市と連携(P17)して、旧吉川小学校の体育館を活用した産地産直レストラン「グロッサリア」をオープン。店舗責任者である奥村賢一郎おくむらけんいちろうさんは、食のプロ、そして一人の移住者として、宮若市での新しい暮らしを楽しんでいます。

新鮮な野菜が安く手に入り、米がおいしいまち。そう宮若市の魅力を語るのには、市内に新しくできた産地産直レストラン「グロッサリア」の店舗責任者である奥村さんです。

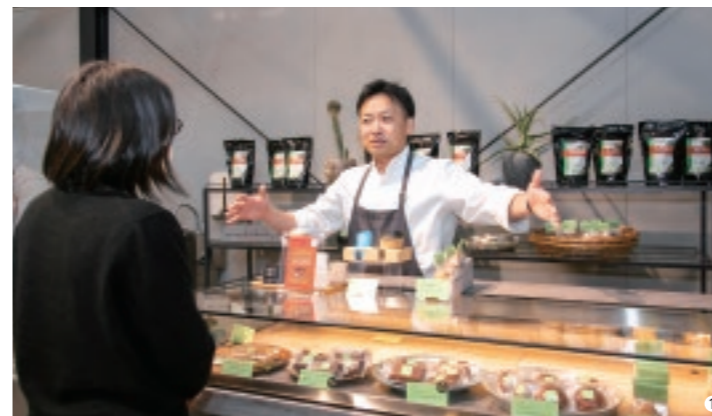
「初めて宮若米を食べた時のおいしさが、とても記憶に残っています。生産者の方とお話をして、豊かな自然環境が凝縮された味なんだと知りました。これならお店は大丈夫だと思いましたし、他の食材もおいしいんじゃないか、それならあれも…と宮若の食材に興味を持つきっかけにもなりました」。

そんな宮若市の魅力的な食材をアピールするべく、お店では宮若牛を使ったステーキに、宮若産フルーツや米粉を使ったスイーツ、パンなど、地元食材をふんだんに使ったメニューを提

供しています。そして居心地の良さもおいしさのうち、と空間づくりにもこだわり、旧体育館という開放的な空間を活かして、座席は大勢でも気軽に集まれるオープンスペースになっています。

「地元のおいしいものを見つけて、可能な限りお客様に還元しようというのが会社の方針。その過程で地元の農家さんが喜んでくれて、宮若に人を呼び込むことができ、お客様が料理を食べて笑顔になってくれたらうれしいです」と、にっこり笑う奥村さん。おいしそうなのを目の前にすると、人は誰でも少しご機嫌になるもの。オープンからまだ1年足らずですが、SNSなどでも話題になり、仕事の合間の息抜きや友人との集まりに

In spring 2022, TRIAL, a nationwide distributor and retailer, opened a restaurant GROCERIA featuring local produce in collaboration with the city of Miyawaka (see p. 17), occupying the gymnasium of the old Yoshikawa Primary School. Kenichiro Okumura, the shop manager, is enjoying his new life in Miyawaka as a food professional and newcomer to the area.



①店頭にも立ち、お客さんとの会話を欠かさない奥村さん  
②焼きたてのパンやケーキは常時30種類以上並び  
③宮若産の地黄卵や宮若米を使ったオムライス

産地産直レストラン  
「グロッサリア」  
住所/宮若市脇田362-1  
営業時間/11:00~21:00  
※一部店舗は9:00~18:00  
店休日/年中無休  
TEL/0949-55-9002

と、早くも地域のコミュニティの場としてにぎわいをみせています。関西からの移住者でもある奥村さん。挨拶をすると、年齢に関係なく気軽に挨拶を返してくれるあたたかいまちの雰囲気は、居心地が良いと言います。「休日は窓を開けて外を眺めながらコーヒーを飲んだり、夏には川でBBQをしたり、ホテルを見に行ったりもしました。仕事がもう少し落ち着いたら、畑づくりをしたいとスタッフと話しています。どれも関西に住んでいた頃には、気軽にできなかったこと。宮若市は自分次第でいくらでも楽しみを見つけられる、すごく面白いまちだと思います」。食を通じて宮若市の魅力を発信しながら、自分自身も新しい発見に心を躍らせる日々。ここにしかない暮らしを満喫しています。

## 新鮮・おいしい農産物が買えるお店

宮若市の大地で育った野菜や米、加工品などが並びます。早い時間に売り切れるものも多いので、来店は午前中がおすすです。



### Pick up.1

#### みやわかの郷



ここがポイント!

地域の魅力を発信する農業観光振興センター。朝採れ野菜などの他、多数の宮若米が玄米で用意されているので、精米したてのお米も手に入ります。

住所/宮若市脇田355  
営業時間/24時間営業  
店休日/年中無休  
TEL/0949-52-7933

### Pick up.2

#### ドリームホープ若宮



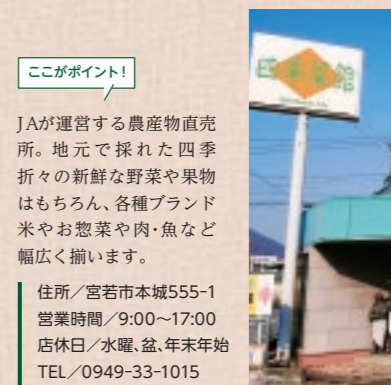
ここがポイント!

しゅんかん 食材が一番輝く「旬間」をお客様に味わってもらいたいと、宮若市の大地で大切に育てられた「今」しか採れない食材を提供しています。

住所/宮若市脇田295-2  
営業時間/9:00~17:00  
店休日/盆、年末年始  
TEL/0949-52-6206

### Pick up.3

#### 四季彩館



ここがポイント!

JAが運営する農産物直売所。地元で採れた四季折々の新鮮な野菜や果物はもちろん、各種ブランド米やお惣菜や肉・魚など幅広く揃います。

住所/宮若市本城555-1  
営業時間/9:00~17:00  
店休日/水曜、盆、年末年始  
TEL/0949-33-1015

# 優しい願いを込めた公園づくり

行き交う人の笑顔を引き出す場所に



犬鳴川河畔の散策を楽しむ人たちの声をまとめ、  
「犬鳴川河川公園」整備へと導いた市民ボランティア団体「犬鳴川みどりの会」。  
会長の来島仁左エ門鴻司さんは、公園の維持・管理を通じて  
まちの魅力を未来に繋げるため、行政とともに日々奔走しています。

宮若市の中心部を流れる、まちの顔ともいえる犬鳴川。河川敷に広がる犬鳴川河川公園は、行政と一緒に市民の声を活かして形にした憩いの場です。この場所を約30年間、欠かさずに維持・管理をしてきたのが「犬鳴川みどりの会」(以下、みどりの会)です。

会長を務める来島さんは、幼い頃に宮若市へ。豊かな自然がまちの魅力と話すように、幼い頃から植物が好きで、農業高校にも通っていたそうです。「今でも全国各地の山で植物調査に参加しています。知識があったこともあって、『公園をつくるから立ち上げと一緒に参加してくれんか』と声を掛けられ、気が付けばこんなにも長く活動を続けています」。

現在会員数は約80人。月1回の公園整備に加え、当番制で毎日管理作業に取り組んでいます。「活動の中心は、花植えや草抜き、東屋の清掃など地道な作業。自然相手ですので、大変です。でも『自分たちのまちは自分たちでつくる』を合言葉に始まった活動なので、汚れていたら恥ずかしいですし、花がしおれているようでは、誇れるまちにはなれないですから。会員一人ひとりができることを少しずつ。そうやって地域みんなでの風景を守っていきたいです」。

かつて寂しい風景だった河川敷は、今では桜や彼岸花の名所として市外からも多くの人足を運ぶ場所になりました。みどりの会の活動の輪も少しずつ広がり、地元企業や高校生も積極

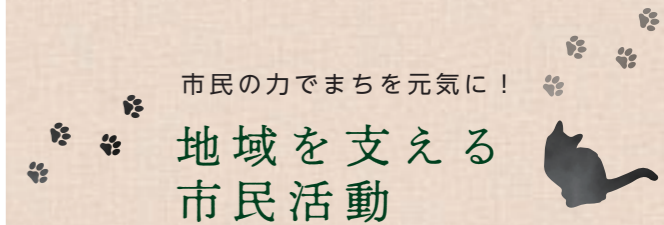
The Inunakigawa Midori Association, a citizens' volunteer group, summed up the views of those who enjoyed walking along the banks of the River Inunaki and led the way to the development of the Inunakigawa Kasen Park. The chairman, Nizaemonkoji Kijima, works hard every day with local authorities to ensure the city's charm is preserved for the future through the park's upkeep and management.



- ① 会員と一緒に地域住民や地元企業、高校生も花植えに参加
- ② 9月下旬には河川敷が28万球の彼岸花で真っ赤に染まる
- ③④ 1年間の活動を労う芋煮会では、地域の人にも芋煮を振る舞う

的に協力してくれるようになりました。それでも、「来てよかったとみんなが思える場所にするには、もう少し考えなくちゃいけない」と、張り切る来島さん。

「いつ来ても季節の花が咲く場所にしたいと、少しずつ手を加えているところなんです。桜並木のように目立つものじゃなくても、ふと目を向けた先に花があると笑顔になるし、たとえ小さくても一年中花の咲く公園があるまちになれば素敵じゃないですか」。優しく思いを語る言葉の節々から感じられるのは、植物への愛、そして地元愛。公園を歩き交う人たちの日常に小さな幸せを届けるため、今日も自然豊かな美しい公園を目指して、汗を流しています。



市民の力でまちを元気に!

## 地域を支える市民活動

### Pick up.1

公園の維持管理などを行う団体



#### 犬鳴川みどりの会

犬鳴川河川公園の除草作業や季節の花などを植えています。春の桜ウィーク、秋のヒガンバナまつり、芋煮会などのイベントも企画。

### 2000年公園みどりの会

イベント企画や、公園内に植栽する花の選定のほか、公園内にある貸し農園の利用者に農具を貸し出すなど、公園の維持・管理を幅広く行っています。



### Pick up.2

読み聞かせなどを行う団体



#### 山口読書会

「子どもたちに絵本の楽しさを伝えたい」と地域のお母さんが集まって発足。図書館でのおはなし会や高齢者向けのパネルシアターなどを行っています。

### 親子読書会「くまの子文庫」

「子どもが喜んでくれるイベントを」との思いから、読みかせだけでなく七夕飾り作りやぬり絵大会なども開催。本の貸し出しも行っています。



### Pick up.3

地域活動を支援する団体



#### サロンすこやかグループ

高齢者へ配布するお弁当づくりを行っています。味付けや調理のコツを教え合いながら、季節にちなんだ料理などを作っています。



### 一 起業のきっかけを教えてください。

**権藤** 10年ほどケーキ店で修業して、自分のお店を開きたいと思って地元の宮若市に戻ってきました。2019年「Patisserie Himawari」をオープンして、季節に合わせたケーキや焼き菓子を作っています。お客様の「こんなケーキを作ってほしい」に応えることがモットーで、できる範囲でオーダーケーキもお受けしています。

**藤原** 2022年の2月に宮田の商店街にコーヒースタンド「nativeland coffee」をオープンしました。農産物としての豆本来の味や香りを感じられるコーヒーを取り扱っています。お店を出す場所を探していたときに、商店街の通りの雰囲気を一瞬で好きになって、直感でこの場所に決めました。少し引込んだ場所でゆっくりのペースでやりたいと思っていたので、理想の場所でした。

**小野** 2015年からアトリエギャラリー「うつしき」をやっている、ジュエリーのデザイナーとしても活動しています。北海道で育って、宮若市に住んだことはなかったのですが、海外や東京での暮らしを経て、移住先を色々と探す中で、宮若市に父の生家があったことがきっかけとなり移住しました。ちょうどいい田舎感とのんびりした落ち着いた空気感も決め手となりました。

**野見山** 元々会社勤めで農業に携わる仕事をしていましたが、2020年からイチゴ農家として独立しました。宮若市に実家があり、農業をやっていたこともあって宮若市を選びました。今は「あまおう」を作っていて、共同出荷による農協さんへの卸しと直売所のドリームホープへ出品をしています。

### 一 仕事をする上でのこだわりは？

**藤原** コーヒー豆は収穫した日まで分かる、品質の確かな

ものを扱っています。味はもちろんですが、ちょっとだけ特別感があるコーヒーでくつろいでもらって、「明日も頑張ろう」という気持ちになってもらいたいなと思っています。自然体な空間づくりを目指しています。

**小野** 古道具やアンティーク、ジュエリーは鉱物をメインで扱っています。食にまつわる器や道具、自分が身に着ける服は、知っている人が作ったものだとなおさら愛着がわきますよね。作り手の考えや背景も伝えて、よいものを届けたいと思っています。✓

**野見山** 天気に左右されない強い株に育てることに加え、花数のバランスがイチゴ作りには大切です。肥料を色々試したり、店頭に並ぶまでの日にちも逆算して収穫のタイミングを決めたり、試行錯誤しています。悩んだときは農家の先輩に相談してアドバイスをいただいたり、人手が足りないときは手伝ってもらったりできるので心強いです。

**権藤** なるべく地元の食材を使って宮若の味を届けたいと思っています。季節の果物をご近所の農園のもの。卵は小さいときから食べてきた地黄卵で、いつかこの卵でプリンを作りたいとずっと思っていたので実現できて嬉しいです。✕

## STARTING A BUSINESS MIYAWAKA



### 一 宮若市で起業してよかったことは？

**野見山** 起業するにあたって、市の就農支援の助成を受けたことです。宮若市は農業にも力を入れているので、関東の方に比べると就農支援が手厚いと思います。そして、とにかく水がいい。水のおいしさに加え寒暖の差もあって、宮若の農産物は味が濃くなっておいしい。福岡県内でも色々な場所で農業に携わりましたが、全然違いますね。これが土地柄の良さだということに改めて気づきました。✓

**小野** 仕入れのために海外に行く時に、高速道路も近いです。飛行機、新幹線と交通のアクセスがとてもいい。あとは、自然環境がいいですね。僕は「自然」を自分の作品のテーマにもしているの、千石のあたりとかの雰囲気が好きです。

**権藤** 宮若市の創業支援の制度はありがたかったです。最初に商工会議所に相談に行き、創業スクールにも参加して、助成金についても色々教えていただきました。おかげでお店のオープンまでスムーズに準備ができました。あとは、宮若の皆さんの人柄がいい。いつも「おいしいよ」とかあったかい言葉をかけていただき励みになります。✕

**藤原** お店の前が小学校の通学路なのですが、この前小学生の男の子から「このお店に入りたい！大人になってコーヒーが飲めるようになったら来るね〜」って言われたんです。自分も幼いときに憧れというか「あのお店行ってみたいな」とか「あの人がかっこいいな」と思うことがありましたが、地元の子どもにとってそういう存在になれたのかなって思うとすごく嬉しかったですね。

**野見山** 私も直売所に持ち込んだ時に、お客様から「(箱に記載される生産者の)名前です」と声をかけていただきました。少しずつ認知してもらえているのかなと嬉しかったです。

### 一 今後の展望を聞かせてください。

**野見山** イチゴは1年1作しか作れません。宮若市の水と気候の特徴をもっとつかんで、収穫量も増やしつつ、「おいしい」と言ってもらえる納得のいく味のイチゴを作りたいです。

**藤原** 海外でコーヒー豆の買い付けからやってみようと思っています。実際に農園に行き、生産者の方とお話をして、それをお店で焙煎して提供したいです。今後の目標です！

**小野** これまで日本国内の色々な作家さんやアーティストを呼んで展示会や演奏会を定期的に開催してきました。今後はもっと外にも目を向けて、海外で展示会を開催していきたいと思っています。海外でなにかしらを吸収して、それをまたギャラリーに反映していきたいですね。

**権藤** 「宮若といえばヒマワリさんよね」と言われるのが目標です！地元で根付いた愛されるケーキを作りたいです。最近、同級生が開くお花屋さんやコラボして、焼き菓子とのギフトセットを始めました。同世代の方々が新しいお店をオープンしているので、宮若はけっこう面白くなってきたなと感じています。若手の方と協力して宮若を盛り上げていきたいですね。

おの やすひで  
**小野 泰秀** さん

北海道出身。2015年、アトリエギャラリー「うつしき」をオープン。ジュエリーデザイナーとしても活動。

アトリエギャラリー「うつしき」  
住所/宮若市原田1693  
TEL/0949-36-4092



のみ やま ひろか  
**野見山 裕香** さん

宮若市出身。2020年、イチゴ農家として独立し「あまおう」を栽培。農協への卸しと直売所「ドリームホープ」で販売。よりおいしいイチゴをめざして栽培方法を探索中。



ふじ わら とおる  
**藤原 徹** さん

直方市出身。2022年、宮田の商店街にコーヒースタンド「nativeland coffee」をオープン。

ネイティブランド コーヒー  
nativeland coffee  
住所/宮若市宮田4866



ごんどう よし み  
**権藤 芳美** さん

宮若市出身。2019年、Patisserie Himawariをオープン。季節感あふれるケーキや焼き菓子が並ぶ。

パティスリー ヒマワリ  
Patisserie Himawari  
住所/宮若市本城706  
TEL/0949-28-7870



# 住みたい、住み続けたい

暮らしの第一歩は、安心して生活できる住まいと、仕事探しから。  
宮若市は「住みたい、住み続けたいまち」を目指し、魅力ある暮らしの環境づくりに力を入れています。  
ちょうどいいまち宮若市で、新たな一歩を踏み出すあなたをサポートします。

The first step to settling in is to find a secure place to live and a job. The city of Miyawaka aims to be a place where people want to live and remain and is taking the initiative to create an attractive living environment. We support those taking a new step forward in Miyawaka, a just-right city.



①江上さん家族  
②お題を出し合って、みんなでお絵描き  
③近所の公園での一コマ。体を動かすことが大好き!



①篠崎さん(写真右)と矢野さん(写真左)  
②米だけでなく、アスパラガスも作り始めた  
③農業機械もたくみに操る  
④宮若うまい米コンクールで金賞を受賞



## 定住 VOICE 手厚い制度が移住の決め手 宮若市の居心地のよさを実感

宮若市で暮らし始めて約10年の江上さん家族。結婚当初は市外に住んでいたのですが、洋一郎さんの勤務地が福岡市になったことをきっかけに引っ越しを検討していたところ、宮若市は「定住奨励金制度」や「家賃補助制度」など、暮らしを応援する制度(P11)が充実していることを知り、すぐに移住を決めたそうです。「利用できる制度が簡単に調べられましたし、宮若市は情報発信がすごく丁寧。制度の内容も、他の地域と比べて手厚く、満足度が高いと思いました」。

現在は憧れのマイホームを、住宅団地「光陵WONDER! GARDENS」(P12)に建て、家族6人で暮らしています。周りには同年代の子どもを持つ家庭が多く、学校帰りに近所の同級生と遊ぶこともよくあ

るそうです。また親同士のつながりが強く、地域で子どもたちを見守り合う雰囲気があるのも安心だと言います。

休日には、市内の公園で子どもたちと遊んだり、長女・次女は所属する陸上クラブで汗を流したりと、充実した日々を過ごしています。「通勤も1時間程度、近くに飲食店やスーパーもありますし、生活する上で不便だと感じたことはありません。何より自然の中で遊べる場所がたくさんあるので、市外まで出かけなくても川で遊んだり、BBQをしたり。子どもたちが今しかできない経験をたくさん積めるこのまちは、とても居心地が良いです」と、無邪気に遊ぶ子どもたちを見つめながら微笑む江上さん。当たり前の日常が続く幸せを、噛みしめています。

## Uターン VOICE 宮若市の食の魅力に惹かれ 二人三脚で米づくりに挑戦

「地元を離れてから『この野菜ってこんな味だっけ?』と思うことがよくあって。そこから食材に対して、どうやって作られたものかなど、関心を持つようになったんです」と話す篠崎さんは、宮若市で生まれ育ちました。一度離れたからこそ気付いた地元食材の魅力を、たくさんの人に知ってもらいたい。そんな思いから、当時福岡市で一緒に飲食店を経営していた矢野さんとともに、約10年ぶりに宮若市に戻り、農業を始めました。

矢野さんは北九州市出身でしたが、「お店でも宮若米を使っておいしさはよく知っていたので、一緒に頑張ろうとすぐに返事ができました」と移住を快諾。自然相手のコミュニケーションの難しさややりがいを感じる日々だと、新たな暮ら

しを楽しんでいます。

人に食べてもらうからには、自分が安心して食べられるものを。そう考えた二人は、農業を可能な限り使わないお米づくりに取り組んでいます。試行錯誤を積み重ねて育てたお米「ニ米女」は、県内各地の飲食店に卸され、予約で完売するほど評判を呼んでいます。さらに2021(令和3)年には、宮若うまい米コンクール(P18)で見事金賞を受賞しました。

「友人から『二人が作ったものならって子どもが残さず食べるようになったよ』と聞いた時には、すごくうれしかったです。宮若の農業を盛り上げられるように、これからも頑張ります!」そう目を輝かせて話す二人の挑戦は、まだ始まったばかりです。

**プロフィール**

えがみ よういちろう  
名 前/江上 洋一郎さん

家 族/妻、長女(10歳)、次女(8歳)、長男(6歳)、三女(2歳)

最近の宮若ニュース/若い世代の人が続々と新しいお店を開いたり、活気づいています!

子どもと遊びに行く場所/西鞍の丘総合運動公園

おすすめの手土産/「瀬川菓子舗」や「Patisserie Himawari」のスイーツはどれもおいしく、喜ばれます。

**Best3**

1 市内に公園がたくさん 子どもが遊べる場所が豊富

2 手厚く分かりやすい制度 子育て世帯はとも助かる!

3 光陵グリーンパーク トレーニング室の利用料が安い!

**プロフィール**

しのぎ さち  
名 前/篠崎 佐知さん

職 業/農家(米・アスパラガス)

移住して良かったこと/新鮮な食材が手に入るのど舌が肥えた...というより元に戻ったおかげで食事が楽しいです!

やの ちえ  
名 前/矢野 智絵さん

宮若歴/3年(北九州市出身)

休日の過ごし方/温泉、ドライブ。二人でフラダンスもしています!

**Our レコメンド**

1 宮若米 ぜび宮若市の水で炊いてみて!

2 人が優しい 応援・協力してくれる人ばかり

3 季節・時間の流れが分かる 五感で四季を感じられます

## 暮らしを応援する取り組み・制度

家賃の補助や家探しのお手伝い、新たな交通手段の充実に取り組んでいます。  
We are assisting newcomers with rent subsidies, helping them to find homes, and working on new transport options.

### 01 TEIJIYU SOKUSHIN

夢のマイホーム取得を応援!

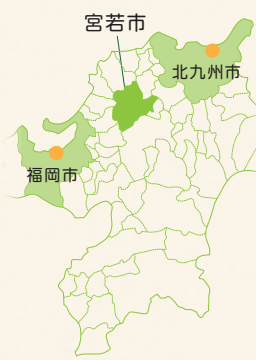
## 定住奨励金制度

市内に住宅を新築または購入した人を対象に住宅にかかる固定資産税相当額を奨励金として7年間交付します。

最長  
**7**年間  
交付

宮若市に家取得で  
**最高105万円**

※年間上限15万円の交付を受けた場合  
※毎年度10月末までに申請する必要があります



福岡市と北九州市まで約40分  
**アクセス**

若宮インターを起点に、各方面にアクセスしやすいまち。

宮若市は、福岡市と北九州市の両政令指定都市のほぼ中間に位置し、九州自動車道を利用すると、両都市まで車で約40分でアクセス可能です。福岡・北九州方面への高速バスの停留所もあり、平日7時台には天神方面行きが、約14本も停車する好アクセスのまちです。  
※詳しくはP29-30へ

#### 対象者

宮若市に永住(定住)することを目的として、市内に自己の居住のための住宅及び土地を取得した人

次の場合は対象外

- 贈与や相続されたもの
- 現在、市内に住宅を所有している人が、この住宅を建て替え、またはさらに住宅を取得する場合
- 市税及び国民健康保険税並びに各種使用料などの滞納がある人
- 過去に宮若市から定住奨励金の交付を受けた人


#### 対象住宅及び土地

対象となる住宅

- 2024(令和6)年12月31日までに取得し、登記が完了した住宅
- ※玄関、トイレ、台所、浴室及び居室があり、床面積が50平方メートル以上280平方メートル以下

対象となる土地

- 対象となる住宅を建築するために取得し、2024(令和6)年12月31日までに登記が完了した土地
- ※330平方メートル(100坪)を超える部分については対象外



詳しくはHPへ

### 02 TEIJIYU SOKUSHIN

月々の負担を軽減!

## 家賃補助制度

市内の民間賃貸住宅にお住まいで、新婚世帯、子育て世帯の人に家賃の一部(月額上限2万5千円)を最長36カ月(3年間)にわたって補助します。

最高  
**90**万円

宮若市の家賃補助  
**月々2.5万円**

※最長36カ月(3年間) ※交付は年払いです  
※原則として要件を満たして6カ月以内の申請が必要です

### 03 TEIJIYU SOKUSHIN

気軽に住まい探し  
**空き家バンク**

宮若市に住みたい人に空き家物件の情報を紹介します。



市内で増えている空き家の対策として、ホームページに空き家情報を掲載している「空き家バンク」。これは、空き家の賃貸・売却を希望する所有者から提供された情報を集約することで、空き家をこれから利用・活用したい希望者に紹介する取り組みです。戸建てだけでなく土地も紹介しています。



詳しくはHPへ

#### 新婚世帯家賃補助金 [転入者に限りません]

対象者(全てに該当する人)

- 夫婦の合計年齢が70歳未満の新婚夫婦
- ※ただし、婚姻届の提出日において、夫婦いずれかが市外住民である場合、年齢制限は適応しない
- 婚姻届が受理されて3年以内の宮若市に居住している夫婦
- ※新婚世帯家賃補助金は、再婚でも対象です

対象となる住宅

- 新婚夫婦のいずれかが自己の居住の用に供するために賃貸借契約を締結した住宅

#### 子育て世帯家賃補助金 [転入者世帯限定]

対象者(全てに該当する人)

- 就学前のお子さんを扶養し同居されている人
- 宮若市に転入してから3年以内の人
- 転入前の3年間が宮若市外住民であること

対象となる住宅

- 申請者が転入後、新たに民間賃貸住宅の賃貸借契約を締結し、居住を開始した住宅



詳しくはHPへ

### 04 TEIJIYU SOKUSHIN

利用者登録で簡単予約  
**AIデマンドタクシー**  
(愛称 ふれタク)

AIを活用した先進的な取り組みです。



宮若市公共交通の見直しの一環として、「AIデマンドタクシー」を運行しています。路線バスと一般タクシー2つの要素を兼ね備えており、決められたルートではなく、予約に応じて乗客の乗降ポイントを柔軟に回りながら走る乗合運行です。事前に利用者登録をしておくことで、配車予約が可能になります。

配車予約はこちらから



宮若市公式LINE  
※LINEのほか専用アプリ「MONET」からも予約できます

### 05 TEIJIYU SOKUSHIN

新たな一歩を踏み出すあなたをサポート  
**創業支援**

創業スクール等に参加し、市内で創業する人に対して、事業所開設費用や融資の利子を補助します。



**宮若市新規事業所開設支援補助金**  
店舗や工場、事業所等を開設するためにかかる、新設・改装工事費や設備品の購入設置費の一部を、対象経費の2分の1、上限50万円まで補助します。

**宮若市新規創業融資資金利子補助金**  
創業のために借り入れた融資にかかる、1年間の利子支払額の2分の1、上限5万円まで補助します。



詳しくはHPへ

### 06 TEIJIYU SOKUSHIN

Column

## 戦略的な定住施策で子育て世帯の定住を実現 新たな拠点整備から地域創生へ

定住人口の増加と活性化を目的に造成した住宅団地「光陵 WONDER! GARDENS」。これまで市では、民間賃貸住宅の家賃補助や定住奨励金などのソフト施策を展開し、子育て世帯への支援を通じて、その受け皿となる住宅団地の整備を進めました。

上・下水道を完備する都市インフラやゆとりある住環境、また光陵グリーンパークや幼・保育施設、小

学校が近接している子育てしやすい好条件から、約1年で全153区画を完売することができました。

平均世帯年齢が35.4歳と子育て世帯の定住が実現し、自治会組織が立ち上がった現在、コミュニティの拠点となる集会所の建設に向けて協議が進むなど、地域創生へのステップを歩み続けています。



# 子どもがのびのび育つまち

子どもたちが元気にのびのび育ち、保護者も安心して子育てできる。その環境を整えるために、宮若市は子育て世帯のための制度や特色ある取り組みを実施しています。未来を担う子どもたちをまち全体で育てたい、その思いが広がっています。

The city implements schemes and distinctive initiatives for families with children to create an environment where children can grow up healthy and happy, and parents can raise their children worry-free. The desire to nurture future generations as a whole city is growing.



①濱田さん(写真左)と石田さん(写真右)  
②先生たちによる手遊び歌や絵本の読み聞かせを毎日実施  
③④床暖房も入っているため冬も快適



①吉武ひなさん  
②生徒会活動では生徒会長として活躍  
③劇団宮若レインボーカンパニーで舞台上に立つ



## 保護者 VOICE 笑顔広がる子育て支援センター 子育て世帯に優しいまち

「子育て支援センター(P15)には、ほぼ毎日遊びに来ています！なくてはならない存在です」と照れながら笑う石田さんは子育て支援センターに通う常連さんです。「予約もいらないし利用しやすい。市内に3カ所あるので、日によって変えてみます。先生は優しいしおもちゃはいっぱいだし、娘もお気に入りの場所です」。センターでは、月一回親子で参加するイベントも開催。足型アートやクリスマス会など子どもの成長や季節を感じる内容で好評です。

同じく常連の濱田さんは長男が3カ月のころから通い、今は次男をさくらんぼの預かり保育に預けながら仕事をしています。長男出産後に「育児支援プログラム いっぱい」(P16)にも参加しました。「IPPO

は毎週集まるから自然と仲良くなってママ友もできました。子どもの月齢も同じくらいで話もはずんで楽しめました。子育てで大変な時期もセンターやIPPOなど周りの存在に助けられたそうです。

「自然が多いし子育て世帯に優しいまちだと思います。子どもといるとよく話しかけられたり」「家賃補助や定住奨励(P11)もほんとに嬉しい」とお二人。宮若市での子育てのしやすさを色々な面で実感しているそうです。「以前住んでいたまちにはなかったけど、宮若だと小学生が『こんにちは〜!』と元気に挨拶してくれます。そんな風にうちのもののびのび育ってほしいと思います」。宮若市の施設や制度を上手に活用するお二人は、忙しくも充実した子育てライフの真っ最中です。

## 学生 VOICE 小中一貫校は1~9年生が同じ校舎に 学校や劇団の活動で広がる交流

宮若西中学校に通う吉武ひなさんは、小学生の時に学校が小中一貫校に変わりました。1~6年生(小学生)と7~9年生(中学生)が同じ校舎で学んでいます。「最初は年上の中学生に緊張したけど、一緒に給食を食べたり交流するうちにかっこいいなあと憧れるようになりました」。学習面では、小学校の授業に中学校の先生が教えにくる乗り入れ授業も経験。「進級後も知っている先生がいて安心でした」。

中学校では、吹奏楽部に加え生徒会でも活躍。最上級生となった今では、生徒会長を務めています。力を入れている朝のあいさつ運動は、小・中学生が合同で活動しています。「小学生たちは元気ととっても可愛い。最上級生としてお手本となる行動をしようという心もかけています」。

充実した学校生活のかたわら、宮若市の魅力を発信している市民劇団「劇団宮若レインボーカンパニー」にも所属しています。きっかけは元々劇団で活動していたお母さんに勧められたこと。踊って歌って、役になりきる楽しさに魅了され、のめり込んでいきました。毎年春に行われる定期公演やイベントなどこれまでたくさんのステージに立ちました。「いろいろな世代の人や他の学校の人と交流できるのもよかったです。劇団の年上の人は、お兄ちゃんお姉ちゃんみたいな存在です」。高校でも色々な課外活動に参加したいというパワフルな吉武さん。「将来は一人で海外を旅して、視野を広げたいです。宮若市から大きな夢が広がっています」。

**プロフィール**

はまだ あや  
名 前/濱田 彩さん  
家 族/夫、長男(3歳)、次男(0歳)

最近のマイニュース/  
宮若温泉郷に家族で泊まりに行きました♪

いしだ ちさと  
名 前/石田 千聡さん  
家 族/夫、娘(1歳)

さくらんぼでの思い出/  
クリスマス会で登場したサンタに娘がおびえていた(笑)

**Our レコメンド**

1 自然が多い 子どもには最高

2 子育て支援の制度が充実 ココロサイフも嬉しい

3 近くに温泉がある 家族でリフレッシュ

**プロフィール**

よしたけ  
名 前/吉武ひなさん  
所 属/宮若市立宮若西中学校3年 ※2023(令和5)年3月時点

家 族/両親と弟

家族の行きつけ/あっさりスープがおいしいラーメン屋さん「来々軒」

ハマっているもの/  
「豆米パン」の塩パン

**My レコメンド**

1 宮若リコリスの図書館 勉強も集中できます

2 犬鳴川河川公園の彼岸花 秋の河川敷は必見

3 追い出し猫 宮若ならでは! 招くだけじゃない!



## 子育てを応援する取り組み・制度

赤ちゃんから学生まで、成長段階にあわせた取り組みを行っています。  
Our initiatives are tailored to the stages of growth from babies to students.

01 KODOMO IKUSEI  
親子の遊び場&交流の場  
**子育て支援センター**  
子育て支援センターでは、地域の子育て支援の拠点となる活動を実施しています。  
詳しくはHPへ

**さくらんぼ** (光陵小学校隣接)  
住所/宮若市磯光1317-18  
TEL/0949-32-1319

**たんぽぽ** (生涯学習センター「宮若リコリス」内)  
住所/宮若市宮田6-1  
TEL/0949-32-0885

**たけんこ** (旧若宮小学校敷地内)  
住所/宮若市竹原1-1  
TEL/0949-52-2002

各センターには気軽に無料で利用できるあそびの広場があり、親子ふれあいイベントなども開催しています。育児に関する相談も随時受け付けています。また、生後6カ月から就学前までの一時預かり保育も実施しています。  
※一時預かり保育は申し込みが必要です

02 KODOMO IKUSEI  
子だくさん世帯も安心  
**保育料多子減免制度**  
多子世帯における経済的負担の軽減と定住促進のため、18歳までの児童を養育している世帯から保育所や認定こども園に入所した場合、第2子以降の利用者負担額(保育料)を軽減します。

**対象者**

児童が2人以上いる世帯において、以下の全てに該当する人が申請の対象です。

- 認可保育所や認定こども園に入所している児童(公立・私立、市内、市外の保育所は問いません)
- 宮若市に対して納付すべき金銭(市税、保育料、負担金、使用料等)の滞納がない児童の保護者

※18歳まで...18歳到達後の最初の3月31日まで  
※届出保育施設(認可外保育施設、企業主導型保育施設)を利用する場合も、市独自の多子減免制度により、利用者負担額を補助します

詳しくはHPへ

03 KODOMO IKUSEI  
安心の医療費サポート  
**子ども医療費支給制度**  
中学生までの子どもにかかる医療費の一部を助成しています。「子ども医療証」を申請して医療機関でご提示ください。

	就学前まで	小学1年生から 中学3年生まで
通院	自己負担なし	1,200円/月 (一医療機関ごと)
薬局	自己負担なし	自己負担なし
入院	自己負担なし	500円/日 (月7日上限)

詳しくはHPへ

04 KODOMO IKUSEI  
はじめて子育てするママへ  
育児支援プログラム  
**IPPO(いっぽ)**

はじめて子育てをするママと赤ちゃんのためのプログラム「IPPO(いっぽ)」。ベビーマッサージやあやし歌など、子育てが楽しくなる講座を行っています。赤ちゃんとの関わり方を学びながら、赤ちゃんもママもお友達を作りましょう。

**場所**  
子育て支援センターたんぽぽ

**対象**  
第1子が生後2カ月~4カ月で宮若市在住の乳児とママ

05 KODOMO IKUSEI  
9年間で充実した教育活動を展開  
**小中一貫教育**  
市内の小中学校全てで小中一貫教育を実施しています。9年間を通した学習カリキュラムを組み、連続性のある教育課程を編成。英語教育の充実や乗り入れ授業の実施、キャリア教育の推進を行い充実した教育活動を展開しています。

06 KODOMO IKUSEI  
地元の豊かな「おいしい」を味わう  
**学校給食の地産地消**  
市内の小中学校では、豊かな地元農産物の給食利用を積極的に行っています。中でも、宮若牛のステーキやコンクールで金賞を受賞した宮若米は子どもたちにも大好評。地産地消の推進と食育だけでなく、子どもたちが地域に関心を持つきっかけにもなっています。

**NEW TOPICS**  
子どもたちの放課後が変わる!  
**「みやわかアフタースクール」  
「MUSUBUスクールみやわか」**  
市内の各小・中学校において、放課後に学力と学習意欲向上を目指すスクールを開校しています。民間の学習塾や地元企業の協力による算数・数学をはじめとしたカリキュラムや、教員OBや学生スタッフによる宿題や教科の補充学習など、個別に学習計画を組んでいます。

※実施スクールは学校によって異なります

教育・子育て環境のさらなる充実へ  
**「宮若市立 光陵小学校」が開校**  
2022(令和4)年4月に開校した光陵小学校は、学童保育所・子育て支援センター・給食センターを敷地内に併設。地域の教育・子育ての拠点となる複合教育施設です。

# モノづくりの産業基盤を活かす

産業のかたちが時代とともに移りかわり、モノづくりの環境が整った宮若市には、世界をリードする自動車産業があります。官民連携によるAI等を活用した新たなまちづくりの推進に加え、豊かな自然を活かした宮若ブランドの特産品開発など6次産業化も進めています。

The shape of industries has changed with the times, and Miyawaka, with its manufacturing infrastructure, is home to a world-leading automobile industry. In addition to promoting new town development employing AI, etc., through public-private partnerships, the city is also promoting agricultural diversification, including the development of Miyawaka-brand specialities that harness the city's rich natural environment.

## 01 SANGYO SHINKOU 市民・行政・民間事業者が協働 日本のシリコンバレーを目指して「リモートワークタウン ムスブ宮若」

「リモートワークタウン ムスブ宮若」とは 宮若市とリテールAI企業のトライアルが協働して始めたまちづくりプロジェクトです。キャッチフレーズは「むすんで、ひらくまち。」遠く離れていてもリモート技術でむすばれて、「まち」も「人」も世界に広くひらかれるまちづくり構想です。



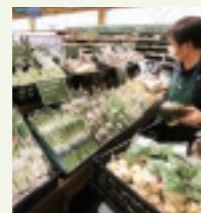
詳しくはHPへ

### 宮若市AI開発センター (MUSUBU AI)



廃校となった小学校をオフィスとして改築。洗練されたデザインは学校の雰囲気を残しつつ、技術者が自由かつ快適に研究開発に打ち込める環境を整え、異業種のメーカーが数多く入居する施設に生まれ変わりました。ここで開発されたAI技術は、市内の店舗での実証実験を経て全国での運用につながります。

### 農業観光振興センター 「みやわかの郷」



宮若市AI開発センターに隣接する「みやわかの郷」では24時間地元の農産物を購入できます。AI技術によって出荷者は自身のスマホからリアルタイムで売上を確認できたり、デジタルサイネージで観光情報を発信したりと新しい小売流通のシステムが採用されています。

### 宮若国際芸術トリエンナーレ「TRiART」

宮若市とトライアル、九州大学が連携して実施するアートプロジェクト。宮若市AI開発センターのほか、廃校となった小中学校のラウンジ等で「ムスブ」をテーマとした国際アートコンペティションの入賞作品や九州を中心に活躍する若手アーティストの作品を展示しています。

## 02 SANGYO SHINKOU 多彩な農産物で魅力ある6次産業化 おいしい宮若ブランドの醸成

### 宮若うまい米コンクール

盆地特有の寒暖差と清らかな水に恵まれた宮若市では、古くから米作りが盛んでした。江戸時代には黒田藩主が好んで食べたという逸話も残ります。2016(平成28)年から開催しているこのコンクールでは、宮若産米の「食べてうまい」の感覚を食味分析計で数値化して総合的に評価します。金賞・優秀賞を受賞したお米はブランド米として販売しているほか、ふるさと納税の返礼品として取り揃えています。



### 認定農業者連絡協議会

市から認定を受けた農業従事者を「認定農業者」として支援しています。米、野菜、果実、花、畜産、加工品など多彩な地域農産物の販路拡大やPRイベントも開催しています。



### 宮若じまん振興会

宮若市ならではのオリジナリティがあるか、その商品が市に根付いているか、市の発展に寄与するかなどの審査をクリアした優れた特産品を「宮若じまん認定商品」に認定しPRしています。認定された商品には「宮若じまん認定シール」が貼られています。



## Column

### 時代とともに進化する 宮若市の産業History

日本の近代化を支えた石炭産業。旧宮田町では明治時代より石炭の採掘が始まり、筑豊最大級の採掘量を誇る貝島炭礦が操業。まちは活気にあふれ、貝島財閥によって鉄道や学校、病院の建設などのまちづくりが進められましたが、エネルギーの転換により1976年に閉山。大きな転換期を迎え、大規模な工業団地を造成し、1991年にトヨタ自動車九州を誘致。「鉱業」の

まちから「工業」のまちへと変貌を遂げました。

現在は全国有数の自動車産業のまちとして発展。最高級車ブランド「レクサス」の約半数以上が宮若市で生産されています。加えて、2020年より官民連携による「リモートワークタウン ムスブ宮若」プロジェクトをスタート。新たな時代の流れに対応したまちづくりが進められています。



## NEW TOPICS

### 農業観光交流拠点&道の駅構想

これまで宮若市の観光を支えてきた脇田温泉や農産物直売所「ドリームホープ宮若」。近年、周辺に宮若温泉郷や農業観光振興センター「みやわかの郷」など新たな観光資源となる施設がオープン。これらとスポーツ施設の西鞍の丘総合運動公園を「農業観光交流拠点」と位置づけ、農産物・特

産品の販売やスポーツ、宿泊を連携することで、市内周遊・集客につなげ、地域の活性化と交流人口の拡大、観光情報の発信に取り組みます。また、拠点機能強化のため、県と連携した「道の駅」の登録を目指し、構想を策定します。



## 企業・学校・地域とともに

市内に立地する企業や学校が地域貢献活動として、  
人材育成やボランティア活動に参画しています。

Businesses and schools in the city participate in human resource development and  
volunteer work as part of their contribution to the local community.

## 豊かな自然をずっと

豊かな自然と恵まれた環境を守り、次世代へ受け継ぐために、  
二酸化炭素の排出量実質ゼロを目指し、取り組みを進めます。

We are taking steps to achieve virtually zero carbon emissions to protect our rich natural  
surroundings and the environment we are blessed with and pass them on to future generations.

01

CHIKI  
RENKEI

まちづくり・人材育成でも大きな力に

### トヨタ自動車九州との連携事業

トヨタ自動車九州は宮若市に本社を置く自動車産業の基幹企業です。2010(平成22)年宮若市と宗像市、トヨタ自動車九州は地域活性化や地域貢献を目的とした連携協定を締結し、様々な活動に取り組んでいます。

#### グローバル人材育成プログラム 「カナダ研修」



市内在住の中・高校生を対象に、カナダでの国際交流プログラムを実施しています。ホームステイやアウトドア活動などの異文化体験やディスカッションなどを通して、将来を担うグローバルな人材を育成します。

#### Re-Q<sup>リキョー</sup>を活用した 「防災連携協定」



Re-Qとはハイブリッドカー用の後付け電源キットのこと。車に設置すると電力供給が可能となり、ガソリン満タン時の電力量はスマホ充電約7,200台/日に相当。宮若市は久留米市、みやま市、広川町、福岡トヨタ自動車、トヨタ自動車九州、豊通マテリアル、あいおいニッセイ同和損害保険と連携協定を締結。災害時には非常用電源として活用しあう相互扶助ネットワークを構築しています。

#### トヨタサイエンススクール 「モノづくり教室」



みやわかアフタースクールに参加している小学生を対象に、サイエンススクールを開催しています。ものづくりへの関心や、工夫する心を引き出す体験型プログラムで楽しく学べます。

#### ボランティア活動



市内で行われるイベントなどにトヨタ自動車九州の従業員がボランティアで積極的に参加。活動は公園の美化やイベント・祭りのサポート、遊具のペンキ塗りなど多岐にわたります。

02

CHIKI  
RENKEI

高校生の若きマンパワー!

### 鞍手竜徳高校の活動



鞍手竜徳高校では、未就学児とその家族、妊婦さんが気軽に遊べる「子育てサロン」を開催しています。高校生と一緒に遊ぶ交流の時間もあり、地域ぐるみで子育てを楽しみ、学びあい、支えあっていく場として好評です。その他にも、公園の清掃活動や球根植栽、うまい米コンクールの審査員、イベントへの参加など、地域貢献活動を積極的に実施しています。

03

CHIKI  
RENKEI

地域で広がる未来への学び

### 直鞍広域連携の取り組み



宮若市・直方市・小竹町・鞍手町が連携した学びや体験のプログラムを開催。この地域ならではの自然・歴史・文化・暮らしに関する体験を通して、地域の魅力を発見・発信するほか、企業や大学の先生による最先端技術の体験学習やプログラミング講座などの将来役に立つ、学校とは一味違った講座を開催しています。

01

SIZEN  
KANKYOU

ゼロカーボンシティを目指す

### 脱炭素社会と環境保全の推進

宮若市は、2022(令和4)年に「ゼロカーボンシティ」を表明しました。  
「2050年二酸化炭素の排出量実質ゼロ」を目指し、取り組みを進めます。

#### 北九州都市圏域での連携



北九州市と周辺17市町で構成する連携中枢都市圏「北九州都市圏域」は、「経済成長の牽引」「高次都市機能の集積・強化」「生活関連機能サービスの向上」の柱のもとに連携を図っています。脱炭素社会を目指す取り組みも強化。公共施設への太陽光設備・蓄電池、省エネ機器を導入し脱炭素化を推進します。

#### カーボンクレジット



森林保護や再生可能エネルギー導入によって削減・吸収された温室効果ガスの効果を数値化し、取引ができるようにする制度「カーボンクレジット」。宮若市は九州大学、企業、自治体で構成する「ナチュラルキャピタルクレジット コンソーシアム」に参画し、カーボンクレジットの促進を通して脱炭素社会、地方創生の実現に向けて取り組んでいます。

#### 協働による 環境保全活動の推進



地域による清掃活動や企業の地域貢献活動を推進し、市民・企業・行政が一体となって環境保全活動に取り組みます。また、環境保護施策を通して、ワンヘルスの理念について普及啓発を行うなど、環境と人と動物のより良い関係づくりを推進します。

#### 生ごみ処理機器の 購入補助制度・講座



ごみの減量化を目的として、生ごみ処理機器(ダンボールコンポスト)購入費の半額を補助金として助成しています。また、ダンボールコンポストの活用方法が学べる講座も実施しています。

#### 資源物拠点回収事業

「家庭ごみ」から出る資源物を無料で回収しています。毎月下記のとおり指定場所で実施しています。

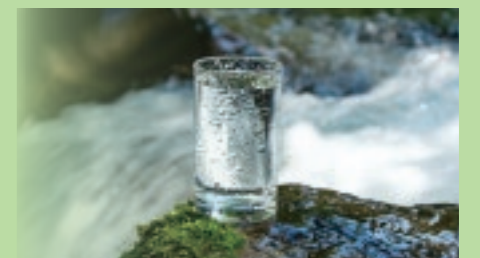
- 第1・第3日曜日 くらじクリーンセンター
- 第2・第4日曜日 宮若市役所、若宮コミュニティセンター「ハートフル」

#### Column

#### 国からのお墨付き 宮若市の水はおいしい!!!

山々に囲まれた自然豊かな宮若市の水は、ミネラル豊富で水質に自信があります。おいしい水に恵まれていたからこそ、古くから米の産地として知られ、農産物の栽培も盛んだったといわれています。  
市内の水道水は、約8割を地下水からくみ上げ、残

りは犬鳴ダムからの放流水を取水して、浄水場にて安全で「おいしい水」となり各家庭へ届けられます。宮若市の水道水は硬度、臭気度、残留塩素など厚生労働省が定める「おいしい水」のすべての項目の基準を満たし、科学的にもその水質が立証されています。



# もっと教えて! 宮若市のこと

宮若市には、住むにも通うにも遊びに行くにも、好奇心を満たしてくれる、さまざまな魅力がいっぱいです。

今回、2019(令和元)年から宮若市ふるさとPR大使として活動するお二人にも、故郷・宮若市での思い出を伺いました。



ふるさとPR大使の我がまちじまん



伝えたいみや!  
広げたいみや!



KENZO  
さん

©ライジングプロダクション

## プロフィール

国民的アーティストDA PUMPのメンバーとして活躍。前人未到の8年連続でダンス世界大会を優勝した“キングオブダンサー”。ダンス界の最重要人物と称され、世界30カ国以上に招待され、400回以上パフォーマンスを行う。数多くの著名アーティストの総合演出や振り付け、育成、CMなどを手がけ、振り付け提供楽曲数は200曲を超える。

## KENZOさん

### イチオシ

#### 清水寺から観る雲海

幼い頃は、朝方に霜が降りたり、霧がかかることが当たり前でしたが、上京してから実家に帰ってくると、こんなにも幻想的な景色があるのかといつも心を癒してくれる大好きな場所です。

住所/宮若市黒丸1558-1

#### 雲海が出やすい条件

前夜との気温差が大きく、湿度が高い無風の早朝



## 宮若市から福岡県を、そして日本を元気に!

両親や様々な方が愛を与えてくれ、僕自身の夢の可能性を育ててくれた故郷です。帰省時は変わらない風景、大自然、人、温泉が僕自身をリセットしてくれて、また頑張れる気持ちにしてくれます。

宮若市には、山々や田んぼに囲まれた自然と共存する素晴らしい場所があり、力強く優しい人が多いまちだと思っています。この先も素敵な環境を大切に、様々な世代の人にとって、心と身体が休まるまちであって欲しいです。



尾崎里紗  
さん

©日本テレビ

## プロフィール

2015(平成27)年4月、日本テレビにアナウンサーとして入社。「ZIP!」ショービズキャスターなどを担当後、2018(平成30)年から4年間、朝の情報番組「バゲット」のMCに就任。その他バラエティ、報道、スポーツなど幅広く担当。第一子を出産し、産前産後休暇取得中。※2023(令和5)年春現在

## 尾崎里紗さん

### イチオシ

#### 犬鳴川河川公園

春は満開の桜を、秋は一面に輝くヒガンバナを楽しめる宮若屈指の癒やしスポットです。中学生の頃、勉強に疲れた時に早朝散歩をしながら深呼吸をした思い出の場所でもあります。仕事でフルマラソンに挑戦する企画があった際は、帰省中この公園で何度かランニングし、すれ違うおじいちゃんおばあちゃんとの交流も楽しみました。

住所/宮若市本城65-1



## 追い出し猫伝説

昔、西福寺というお寺に一匹の大ネズミが住みつき、悪さをして和尚さんや村人を困らせていました。そこで、和尚さんに可愛がられていた猫はたくさんの仲間を集めて、命がけで大ネズミを退治したのです。和尚さんは猫塚を作り、猫たちを手厚く供養しました。その猫たちが現代でも皆の幸せを守るために転生した姿。それが市のイメージキャラクターでもある「追い出し猫」なのです!!



市内各地で僕たちに会えるみや!



猫のひなめぐり

追い出し猫神社

## 豊かな自然に癒やされ、自分をリセットできる場所。

宮若市は山と田んぼに囲まれており、四季折々で違った自然の景色を楽しめます。大きなスーパーもあって、お店に並ぶお魚、お野菜は安くて新鮮!個人で経営している居酒屋さんやお菓子屋さんそれぞれのこだわりが光っていて、これまた安い!博多や北九州などの都市には車で1時間ほどで行けるので、通勤や買い物したい時も便利。生活のオンとオフを作りやすい環境だと思います。東京で生活していると1日があっという間に過ぎますが、帰省すると時計を確認するのも忘れるほど、心からくつろげます。

個人的に好きなのは秋の夕暮れ時。空気が澄んでいるからか、良いカメラを使わなくても美しいグラデーションの茜空を撮影できます。自慢の故郷です。



# 宮若の地で愛される自慢の逸品

自然の恵みが織りなす豊かな農産物、そしてその素材を活かした加工品など、作り手のこだわりが詰まった逸品が、市内外で愛されています。



7月～10月頃には、市内の農園で果物狩りもできるみや!



## 宮若市の果物

気候や風土に恵まれた宮若市の果物は、全国的に高い評価を受けています。代表格はぶどうで、実がはじけそうな巨峰に、宝石のようなシャインマスカットなど、その美味しさは折り紙付き。またイチゴの栽培も盛んで、「あまおう」は色つや、粒の大きさ、糖度のいずれも抜群です!



## 宮若牛

宮若市のきれいな空気とおいしい水、そして“お米”を食べて育つ宮若牛は、とても柔らかく、ジューシーな赤身が自慢です。



## まるごとフルーツ大福

伝統の味を守り続ける創業100年の老舗「瀬川菓子舗」。自慢のあんこと一緒に、いちごやキウイ、いちじく、柿など旬の宮若産フルーツをまるごと包んだフルーツ大福は、手土産にも大人気です。



## 追い出し猫

地元で伝わる民話から生まれたキャラクター。両面に顔があり、「怒った顔で災いを追い出し、笑顔で福を招く」縁起物として親しまれています。市内には巨大モニュメントや猫塚のバス停、交流スペース、グッズなど、追い出し猫モチーフが満載です。



## 宮若米

古くから良質な米の産地として名を馳せてきた宮若市。炊きあがりがつややかで、甘みも粘りも絶妙。おかずなしでも、箸が進みます。



## トルコギキョウ

福岡県是全国第3位のトルコギキョウ産地。特に宮若市での栽培が盛んで、宮若市から全国に発送されています。



## 地黄卵

飼料にこだわった、鶏卵の傑作。黄身が濃厚で粘り強く、卵特有の臭みもありません。また、通常の10倍以上のビタミンEを含む栄養機能食品です。



冷凍なのでいつでも手軽に食べられるみや!

## 竹ちまき

爽やかな香りの真竹の中に、九州産の素材を使用した風味豊かな中華ちまきがぎっしり。竹筒の製造からすべて手作りで、時間をかけて丁寧に作られています。



## ふるさと納税



ふるさと納税パンフレット

## おいしい宮若。

宮若市の自慢の逸品は他にもたくさんあります!宮若市のふるさと納税では「食」から「体験」まで数多くの返礼品を取り揃えています。この機会に、ぜひ宮若市へのふるさと納税をご検討ください。

詳しくは、ホームページをご確認ください。





お祭り・イベント

FESTIVAL・EVENT

# 市民のパワーが集結! 笑顔咲く四季の風物詩

色とりどりの花に包まれる春、熱気あふれる人々が集う夏、伝統に彩られた祭りが息づく秋、そして心を温めてくれる冬。宮若市では、四季折々の多彩なイベントが行われています。



珍しい巨大な大門松は必見!!



## 日本一の 大門松祭

自然豊かな山里の風景の中に、巨大な大門松が2基並びます。毎年地元の山から切り出した竹を多く使い、約1カ月かけて制作。日没後はライトアップされ、昼とは異なる景観が楽しめます。

開催時期 / 12月初旬～翌年1月中旬



## 若宮八幡宮 放生会大祭

江戸時代から続く筑前三大放生会の一つ。勇壮な山笠や大名行列など、脈々と受け継がれる伝統行事を間近に感じることができます。

開催時期 / 2年に1回10月中旬  
住所 / 宮若市水原396-1 (若宮八幡宮)



## 清水寺 竹灯籠

地元の黒丸むらおこしの会が主催するイベント。毎年制作する趣向を凝らしたデザインが見どころで、水素自動車から給電するLEDのカラフルで幻想的な光の世界は年末の風物詩になっています。

開催時期 / 年末年始の日没から  
住所 / 宮若市黒丸1558-1 (清水寺)



## 宮若ふるさと祭

ステージイベントの他、宮若市の魅力を盛り込んだ特産品の販売や遊びのコーナー、模擬店、お楽しみ抽選会など、一日ゆっくりと楽しめます。

開催時期 / 10月の最終日曜日  
住所 / 宮若市乙野601 (西鞍の丘総合運動公園)



## 宮若全国俳句大会

「俳句の似合うまち」を目指して、全国から俳句を募集。優秀作品は、脇田温泉近くの俳句の道(P28)に建つ句碑に記され、1年間顕彰されます。

開催時期 / 9月中旬  
住所 / 宮若市脇田



## 納涼花火大会

犬鳴川河川公園を舞台に、約3,000発の花火が、夏の夜空を美しく彩ります。間近で打ち上げられるパラエティー豊かな花火の迫力は折り紙付きです。

開催時期 / 7月  
住所 / 宮若市役所付近犬鳴川河川敷



自然・公園

NATURE・PARK

# 遊んだり、くつろいだり、過ごし方いろいろ

市民と一緒に緑化を進めてきた宮若市。体を動かしたいという市民の情熱を全力でサポートするために、様々な環境整備を進めています。

家族みんなでピクニックやスポーツも楽しめるみゃ!



## 西鞍の丘総合運動公園

散歩やピクニックはもちろん、芝生フィールドでは天然芝の中で、サッカーやグラウンドゴルフなどができます。また、公園にある丘の頂上まで登ると、周りの山々と公園全体が見渡せ、四季折々の風景を楽しめます。

住所 / 宮若市乙野601

## 光陵グリーンパーク

公認規格の野球場では高校野球予選やプロ野球選手の自主トレも行われています。その他、テニスやフットサルなどができるアリーナやトレーニングルームなどもある総合運動公園です。

住所 / 宮若市磯光1668-2



夏は川遊びで涼もう!

## いこいの里 “千石”

溪谷沿いには千石公園や笠木城跡、吊橋などが点在。春は桜やツツジ、初夏はホテルの乱舞、夏は川遊びやキャンプ、森林浴など、年齢問わず楽しむことができます。

住所 / 宮若市宮田2058-1



## 2000年公園

炭鉱跡地を活用した、緑の美しい公園。市民が気軽に農作業を楽しめる貸し農園や、栗や梅など20種類の果樹が植えてある果樹園、芝生広場などがあり、市民の憩いの場として親しまれています。

住所 / 宮若市上大隈450-2





# 文化が薫る伝統が息づくまち

犬鳴川流域に平野部が広がり、古くから人々の生活の場とされてきた宮若市。まちを築いてきた先人たちの足跡が、現在も残されています。



古代の壁画アートが  
間近で見られる  
貴重な古墳だま



## 竹原古墳

今から約1500年前の6世紀後半頃に築造された古墳。国内でも屈指の彩色壁画を持つ装飾古墳として、国史跡に指定されています。一般公開されており、誰でも予約なく見学できます。  
住所／宮若市竹原731-2(諏訪神社境内)  
開館時間／9:00～16:00  
(月曜、年末年始定休)  
料金／大人220円、中高生110円、小学生50円



## 石炭記念館

1974(昭和49)年に閉校となった旧大之浦小学校の校舎を活用した、宮若市の石炭の歴史が学べる記念館。貝島炭礦の歴史を知るための機器や模型、写真、文献等を展示しています。  
住所／宮若市上大隈573  
開館時間／9:00～17:00(月曜、木曜午後、祝日、年末年始定休)



## 宮若トレッジ

宮若市の歴史や文化を次世代に伝えていくため、2022(令和4)年に開館した宮若市文化財収蔵・展示・交流センター。建物は、100年以上の歴史を持つ旧宮若西小学校をリノベーションしています。  
住所／宮若市宮永11-1  
開館時間／9:00～17:00(月曜、年末年始定休)



## 若宮八幡宮三十六歌仙絵

江戸時代初期に活躍し、浮世絵の祖と呼ばれた岩佐又兵衛勝以。岩佐の描いた歌仙絵が36枚すべて揃うのは全国でも3カ所のみという貴重さから、原本は福岡市美術館に寄託されています。



## 観光ガイドと迎える宮若市の歴史

宮若市の歴史物語をもっと知りたい!という人には、観光がいの会によるツアーがおすすめ。石炭の歴史や地域の神社にまつわる伝説など、史跡を巡りながら、地域に伝わるエピソードを楽しく教えてくれます。  
宮若市観光がいの会  
TEL／0949-55-9090  
(宮若市観光協会)



# 川のせせらぎ響くまちでゆったり温泉三昧

奈良時代からこの地で親しまれてきた「脇田温泉」。また、豊かな自然の中に新たに「宮若温泉郷」も誕生。四季折々の美しい風景を眺めながら、心もほぐれるひと時を過ごせます。



脇田の地名は、「温泉が湧き出る場所」の意味から生まれたま



## 脇田温泉

犬鳴峠のふもと静かな山あい、奈良時代から湧く温泉。「美肌の湯」といわれるアルカリ性単純泉のぬるっとした湯が特徴で、入浴後のお肌はツルツル、スベスベに。



## 楠水閣

男女合わせて10種類の露天風呂のほか、家族風呂もあり、温泉施設が充実した純和風の宿です。  
住所／宮若市脇田507 TEL／0949-54-0123

## ルートイングランティア福岡宮若

温泉の充実だけでなく、キッズスペースや屋外BBQ施設などもあるため、子どもも楽しめます。  
住所／宮若市脇田778-1 TEL／0949-54-0305

## 湯原荘

昭和風情が色濃く残る小さな宿。1日1組限定なので安心してくつろげます。  
住所／宮若市湯原1409 TEL／0949-54-0320

## 桃源境

家族経営の人情豊かな宿。旬の食材を使った和食会席は地元の人にも人気です。  
住所／宮若市脇田468-9 TEL／0949-54-0322



## 宮若温泉郷

地産地消で人と地域をつなぐ「結ぶ宮若」をコンセプトに、レストランや温泉施設が一体となった複合宿泊施設が2021(令和3)年にオープンしました。地元食材をふんだんに使用したレストランは、宿泊客以外も利用可能です。

## 古民家 煉り

住所／宮若市乙野667-3  
TEL／0949-52-6380

## 虎の湯

住所／宮若市乙野644-2  
TEL／0949-28-7435

## 風情ある温泉街をそぞろ歩き



## 楽水之径

脇田温泉に設けられた560mの遊歩道。ホテルの名所として知られるほか、夏には水遊びを楽しむ親子連れの姿をよく見かけるなど、夕涼みにぴったりの場所です。

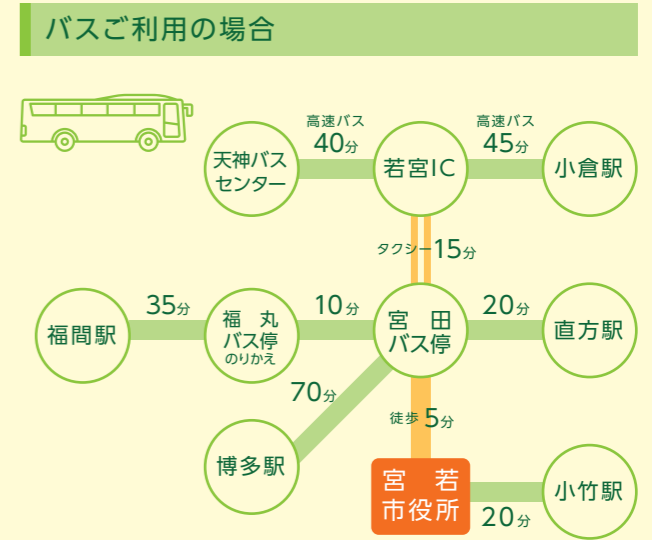


## 俳句の道

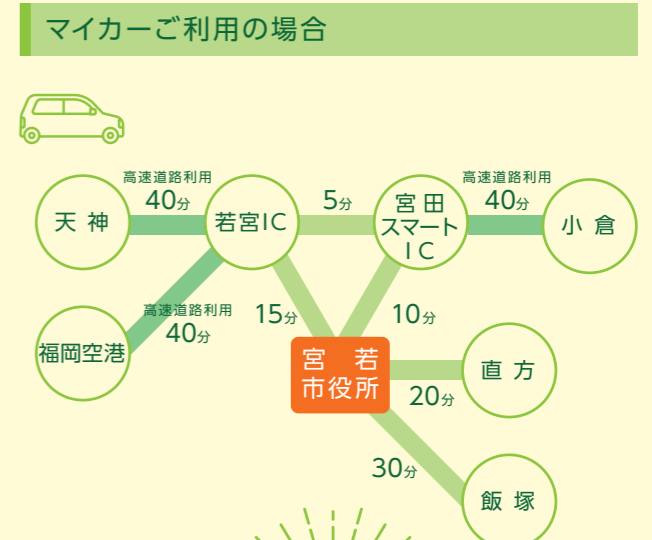
脇田温泉の犬鳴川沿い約2kmにわたって延びる風情豊かな散歩道。傍らには、宮若全国俳句大会の入選作品を記した句碑が並んでいます。



ACCESS



西鉄 高速バス  
「博多・天神」方面行  
最大 約14本/1h  
※平日7:00台の運行状況の場合



「博多・天神」「小倉」まで  
約40分

飯塚市

宮若市観光協会

観光・イベント・レジャー・お土産・道路情報など宮若市に関する事なら観光協会にぜひご相談ください。また、ホームページでは最新のイベント情報や観光スポット紹介のほかモデルコースも掲載しています。

住所/宮若市脇田16 TEL/0949-55-9090





## 市民とともにある市政

「私たちの街を住みよい街にするために、私たち市民が色々な問題を話し合い、自らの手で運営していくこと。」これが住民自治の基本です。市民が自分たちの代表者として市長と市議会議員を選び、市長は市民の参画を得ながら住みよいまちづくりをすすめ、議員は市議会を構成し市長が市政を行うのに必要な条例や予算などを審議し決めることとなっています。市長を「執行機関」、市議会を「議決機関」といい、両者は車の両輪のようなはたらきをしながら市政発展のために活動しています。

市長と議員は、4年ごとに選挙によって選ばれます。市の条例で議員の定数は16人と定めています。

議会は、定期または臨時に市長が招集して一定期間開きます。定期的に開く会議を定例会、必要に応じて開く会議を臨時会といいます。宮若市では定例会を年4回(3

月・6月・9月・12月)開きます。市の将来像の実現に向けた施策を推進するための予算決定や条例の策定、市の抱える課題解決に向けて取り組んでいます。



## 宮若市民憲章

私たちの宮若市は、緑輝く自然や誇りある歴史と伝統を先人より受け継いできたまちです。このまちを愛する私たちは、将来の夢や希望を実現できる「輝くふるさと」を目指し、ここに市民憲章を定めます。

- みどり豊かな自然を愛し、美しいまちをつくります。
- 歴史と伝統に学び、文化の薫り高いまちをめざします。
- 互いに助けあい、やすらぎのあるまちをめざします。
- 活力に満ちた産業を育み、働きやすいまちをつくります。
- ふるさとを愛し、誇れるまちをつくります。

(平成20年2月22日告示)

## 輝くふるさと

「輝くふるさと」は、2006(平成18)年6月に宮若市の合併記念事業として上演された市民ミュージカル「朱き燃え石(～走れアルコ22号時空をこえて～)」のテーマソングとして作られました。その後、明るく元気のよいメロディーとわかりやすい歌詞から、宮若市の「まちづくり応援歌」として広く市民の皆さんに親しまれてきました。「宮若市に住む一人でも多くの皆さんがこの歌を口ずさみ、私たちが住む宮若市へ愛着をもっと深めてもらいたい…」、「いつかふるさとを旅立つ子どもたちが、宮若市から遠く離れても、いつでもふるさととはそばにあることを感じてほしい…」そんな願いをこめて、2013(平成25)年2月11日に、この「輝くふるさと」を宮若市歌として制定しました。



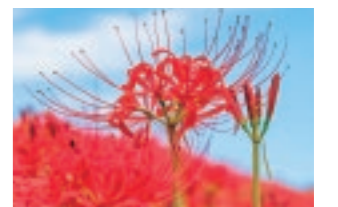
※たくさんの方に「輝くふるさと」を知ってもらうため、市役所でCDの販売も行っています

宮若市の「み」の文字をモチーフに、市民が明るく輝き、飛躍している様子を表現しています。3枚の葉は「ひと」「みどり」「産業」を意味し、市民と企業と行政が協働している様子を表現しています。また、シンボルカラーのオレンジは「太陽・輝き」を、グリーンは「豊かな自然」を表しています。



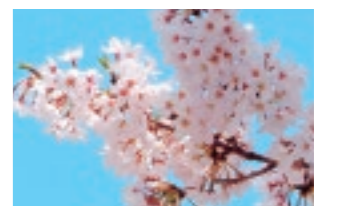
## 彼岸花(ヒガンバナ)

どんな天候でも花を咲かせ堅実な歩みを目指す宮若市にふさわしいことから選ばれました。



## 桜(サクラ)

市内の河川敷などにも植えられ、市民の皆さんの愛着が高いことから選ばれました。



## 輝くふるさと

作詞：徳満 亮一  
作曲：宮崎 漢生

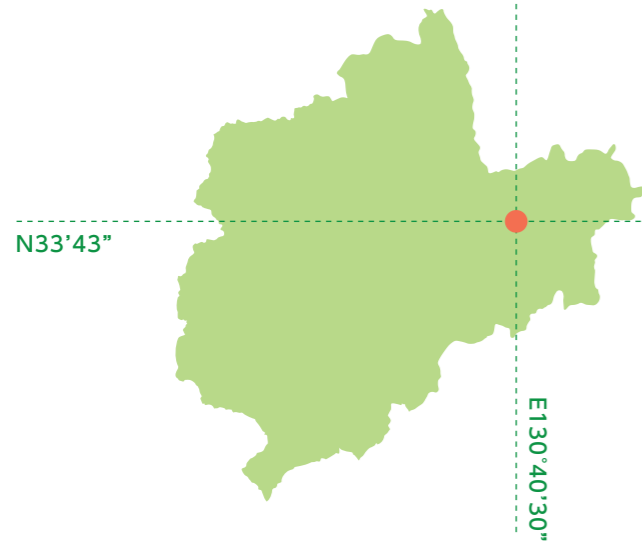
安らげる人がいる 癒される緑がある  
そして輝く 歴史がある  
宮若市温かいふるさと 宮若市輝くふるさと  
さぁここへお出でよ 共に輝く未来を築こうよ

風が優しさを連れてくる 水が命を授けてくれる  
人は思いやりに溢れ 街は喜びに包まれる  
そんな街だよ 大好きな街だよ  
君と一緒に見つめたい 歴史と夢と未来を

安らげる人がいる 癒される緑がある  
そして輝く 歴史がある  
宮若市温かいふるさと 宮若市輝くふるさと  
さぁここへお出でよ 共に輝く未来を築こうよ  
輝くふるさとを築こうよ

面積・位置

面積 **139.99** km<sup>2</sup>



人口

**26,734**人  
 男 12,919人 女 13,815人  
令和4年12月31日現在

世帯数

**13,196** 世帯  
令和4年12月31日現在

財政指標

経常収支比率	財政力指数	実質公債費比率
<b>87.0%</b>	<b>0.63</b>	<b>6.5%</b>

令和3年度決算

総農家数

総農家数	販売農家	自給的農家
<b>774</b> 戸	<b>632</b> 戸	<b>142</b> 戸

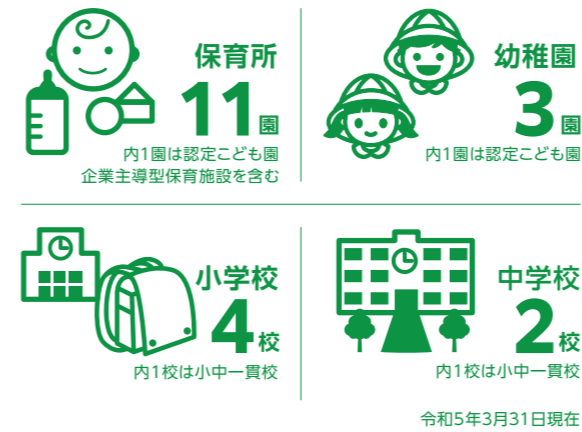
令和3年経営センサス

事業所数・従業者数

事業所数	従業者数
<b>55</b> 所	<b>12,318</b> 人

工業統計調査2020

教育・保育施設



図書館

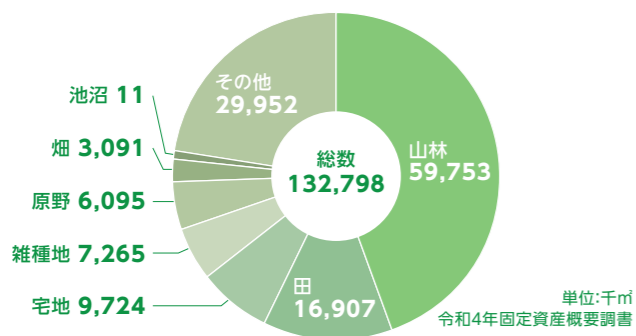


医療機関

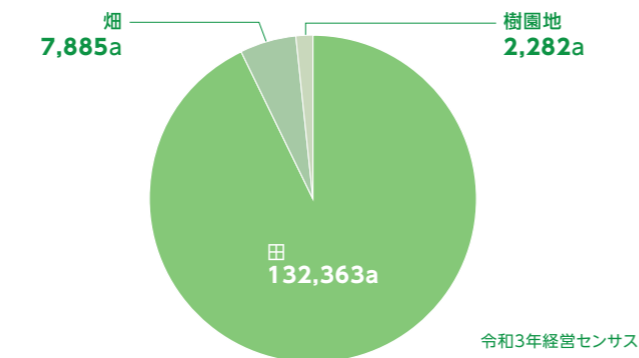


- 2006年(平成18年) 2月 宮田町・若宮町が合併し「宮若市」が誕生
- 2007年(平成19年) 4月 県内で初めて就学前までの医療費を完全無料化
- 2010年(平成22年) 4月 トヨタ自動車九州、宗像市と連携協力に関する協定を締結  
9月 西鞍の丘総合運動公園芝生フィールド完成
- 2011年(平成23年) 3月 宮田スマートインターチェンジ開通  
4月 若宮コミュニティセンター「ハートフル」開館
- 2012年(平成24年) 5月 生涯学習センター「宮若リコリス」開館  
8月 光陵グリーンスタジアム完成
- 2013年(平成25年) 2月 「輝くふるさと」を市歌に制定  
4月 宮若市立宮若東中学校・宮若西中学校開校  
8月 グローバル人材育成プログラム「カナダ研修」開始
- 2016年(平成28年) 2月 宮若市制施行10周年記念式典  
7月 福岡銀行、ふくおかフィナンシャルグループと連携協力に関する協定を締結  
10月 宮若うまい米コンクール初開催
- 2017年(平成29年) 4月 宮若市立小中一貫教育校「わかみや校」開校  
8月 光陵WONDER! GARDENSまちびらき
- 2019年(令和元年) 10月 宮若市ふるさとPR大使にKENZO氏、尾崎里紗氏が就任
- 2020年(令和2年) 5月 宮若市役所新庁舎が開庁  
9月 トライアルホールディングスと「リモートワークタウン ムスブ宮若」連携協定を締結
- 2021年(令和3年) 7月 宮若国際芸術トリエンナーレ「TRiART」展示開始
- 2022年(令和4年) 4月 宮若市文化財収蔵・展示・交流センター「宮若トレッジ」開館  
4月 宮若市立光陵小学校開校  
4月 農業観光振興センター「みやわかの郷」開館  
10月 MUSUBUスクールみやわか開始  
11月 九州のお米食味コンクールin宮若 初開催
- 2023年(令和5年) 2月 日本郵便と包括連携協定を締結  
2月 「リモートワークタウン ムスブ宮若」まちづくりプロジェクト連携協定を締結

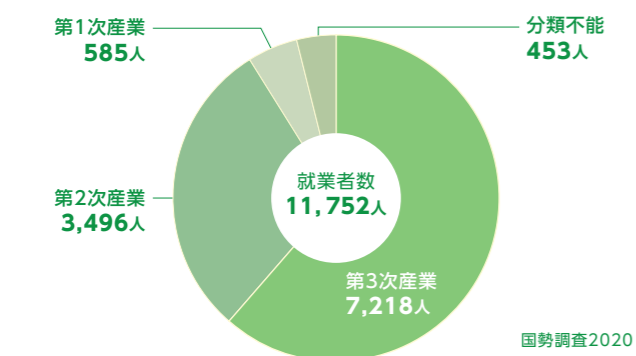
地目別土地状況



経営耕地の状況



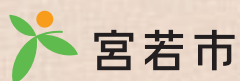
産業別人口



製造品出荷額等の内訳

輸送用機械器具製造業	121,175,727万円
プラスチック製品製造業	2,429,361万円
金属製品製造業	665,084万円
生産用機械器具製造業	645,747万円
窯業・土石製品製造業	625,180万円
食料品製造業	60,833万円
鉄鋼業	18,629万円
その他	2,899,432万円
計	128,519,993万円

工業統計調査2020



MIYAWAKA CITY



## 宮若市市勢要覧 2023

制作・発行

宮若市役所 秘書政策課 秘書広報係

福岡県宮若市宮田29-1

☎ 0949-32-0510 (代表) FAX 0949-32-9430

市勢要覧は市公式ホームページでもご覧いただけます。

<https://www.city.miyawaka.lg.jp>

発行/2023(令和5)年3月



## 宮若市公式 SNS

Instagram



miyawaka\_city

LINE



宮若市

Facebook



Miyawaka city

YouTube



宮若市役所